

「ボーナスカット裁判に勝利しよう！」 #11

## 証言台の管理者「非違行為」連発！

### ボーナスカット裁判第5回口頭弁論

地本委員長への不当なボーナスカットに対する裁判は、9月23日第5回口頭弁論が開催され、弁護士役の成田委員長が会社側証人の二名の助役を鋭く追及しました。

被告会社側の証人にたった中村助役は、自らの陳述書で仕業検査の終業時間が8時30分なのに「9時」と誤って書いていることに指摘されるまで気が付かないお粗末さ。これは重大な非違行為ではないのか！

また、成田委員長が「カバー『取付』、『EGSカバー』ヨシ」の喚呼を「カバー『復位』、『EGSカバー』ヨシ」と間違えたことを指摘してボーナスカットの理由とされたにもかかわらず、成田委員長からの「EGSを扱った後、カバーはどうしますか？」という質問に対し、『復位』する」とはっきり答えました。指摘した本人自身が同じ非違行為を犯したのです。

もう一人の会社側証人である増田助役は、なんと「成田さん」と呼んだことが指摘であるという驚くべき証言をしました。

また、移動禁止表示器を「赤」から「白」へ解除するためにはどうするのかという質問に対して、『外勤が全作業終了を作業表示灯の滅灯で確認して解除する』と答えました。しかし、成田委員長から「それだけではありませんね。作業責任者からの作業終了の報告もあって、ダブルチェックで白に解除するのですね。」と指摘される始末でした。

これらの管理者の発言は、会社のいう非違行為が非違行為でも何でもないと示したといえます。ボーナスカットの理由そのものが全く正当性がないことはあきらかです。

## 次回期日は10月19日

いよいよ怒濤の11連発・渡辺助役の登場です！！

## 組合員は地裁へ最大結集しよう！！